

コーディネーター

- ・地域の中で、防災などいろいろな問題に対して、どういう風に情報共有していくか決めることは大事。
- ・地域の行事を運営していくために、若い世代がたくさん住んでいる地域なので、高校生や大学生を担い手にできないかという発想があってもいい。
- ・防災訓練だけで人が集まらないなら、クリスマス会の中に防災訓練を組み込むというような発想の転換が必要。
- ・中学生など10年後の大治町を担っていく若い世代と意見交換することが大事。
- ・今までやってきた仕事を書き出して、本当に必要な仕事を精査し、その中でやりたい人を挙手制にした。誰も手を挙げないものは思い切ってなくして、やりたいものだけ残した。そうすることで、みんなが楽しめるようになり、担い手が増えていった。

参加者

- ・子どもたちが喜ぶことやみんなが集まるような行事は、苦勞することもあるがやりがいも大きい。
- ・昔は小学校の一部が遊園地になっていて、そこで遊んだり駄菓子屋に行ったりしたが、今はなくなってしまっている。
- ・交流の場として、お祭りがあるのはいいと思う。
- ・コミュニティ活動を活発にしていくために、活動に興味のある人ややる気のある人を見つけることが大事。
- ・子ども会があることで、子ども同士の友達ができるなどいろいろな繋がりができる。
- ・防災とごみ問題は町内の共有の話題として持つ必要がある。
- ・防災とごみについては、住民と行政が一緒になって知恵を出し合うべき。
- ・ごみについて、大きなごみを回収するときに役員が行うのは大変なため、スタッフを雇うなど、事業化が必要になると思う。
- ・マナーや文化を学べるようなボードゲームを作ったが、みんな楽しく参加してくれた。

など